

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成24年10月4日(2012.10.4)

【公表番号】特表2008-525597(P2008-525597A)

【公表日】平成20年7月17日(2008.7.17)

【年通号数】公開・登録公報2008-028

【出願番号】特願2007-548518(P2007-548518)

【国際特許分類】

C 10 G 11/18 (2006.01)

B 01 J 29/08 (2006.01)

B 01 J 29/40 (2006.01)

【F I】

C 10 G 11/18

B 01 J 29/08 M

B 01 J 29/40 M

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年8月17日(2012.8.17)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0006

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0006】

米国特許第5,846,403号(1998年12月8日発行)は、FCCにおける軽質オレフィンの収率を改善すると同時に、プロセスにおいて生成されるガソリンのオクタン価を増大させる方法を開示している。この方法によれば、軽質の接触ナフサ供給物及び水蒸気を、従来のFCC供給物注入位置の上流で注入する。しかし、軽質供給物はただ1つの注入部位で注入される。この方法は、触媒及び軽質供給物の間の均一かつ完全な接触を提供できず、その結果、所望の生成物の転化及び収率は最大化されない。また、この方法では、より重質の供給物が、一般的なFCC供給物、すなわち、軽油と混合され、同じ供給物インゼクターを介して、主供給物としてライザーに注入される。このデザインでは、より重質の供給物が気化し、所望の接触分解反応を受けるための最適条件を提供できない。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項13

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項13】

制御弁がスライド弁である、請求項12記載の方法。